

京都造形芸術大学主催
京都芸術劇場 毛利臣男芸術監督プログラム

2007年10月20日(土)
モーリ・マスク・ダンス Part13 去來II

2007年12月9日(日)
モーリ・ファッション・インスタレーション
featuring TSUMORI CHISATO

◀◀◀詳細は2・3ページへ

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催プログラム

2007年11月17日(土)
コンサート ジェネシス(始原)II

2007年11月28日(水)・29日(木)
バジル・ツイストの『Dogugaeshi』

2007年12月8日(土)・9日(日)・22日(土)・23日(日)
〈映像と身体〉の人類学

◀◀◀詳細は4・5ページへ

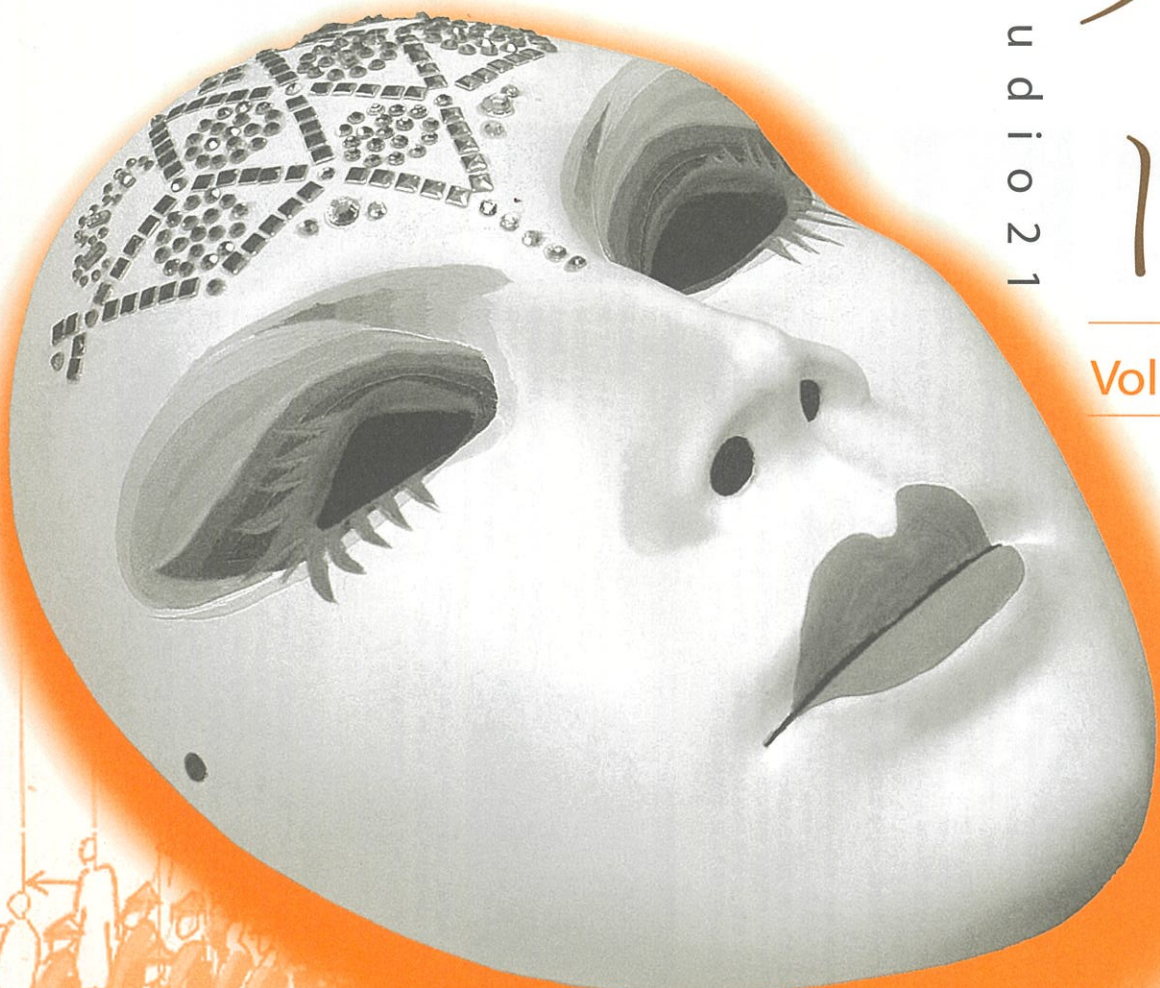
スケジュール・ピックアップ(その他の公演情報)

2007年12月2日(日)
第2回世界アーティストサミット 他

◀◀◀詳細は6・7ページへ

京都芸術劇場
ニュースレター
New s l e t t e r s h u n j y u z a / s t u d i o 2 1
1 場

Vol.6 2007.10.



スケジュール・ピックアップ

京都造形芸術大学 京都芸術劇場 毛利臣男芸術監督プログラム

モーリ・マスク・ダンス Part13 去來II

きよらい

10月20日(土) 開場15時30分 開演16時 京都芸術劇場 春秋座 料金:500円(前売・当日共)

※未就学児のご入場は出来ません ※小学生は保護者同伴のみ入場可能(無料)です。

戯曲・構成・演出・美術・衣裳:毛利臣男 京都芸術劇場芸術監督

出演:栗崎昇(花柳)、藤間信乃(輔) 日本舞踊派藤間流・須貝哲也(舞踊家)・廻はるよ(京都造形芸術大学 空間演出デザイン学科准教授)

音楽・出演:越智義朗(作曲家・パークカッショニスト)・越智義久(パークカッショニスト)

仮面・舞台制作指導:大野木啓人(京都造形芸術大学芸術学部学部長)

衣裳制作指導:中山和子(京都造形芸術大学ファッションデザイン学科3回生)

出演・デザイン製作・音響・照明:空間演出デザイン学科3回生 出演製作:モーリ・マスク・ダンス学生プロジェクトチーム

モーリ・マスク・ダンスは毛利臣男芸術監督が提唱する「コラボレーション美学」をフィロソフィーとし、戯曲・構成・演出・美術・衣裳の全てを務める、仮面無言劇です。能をイメージ素材に絵画、彫刻、音楽、演劇、舞踊などあらゆる要素を含んだ新しいビジュアルパフォーマンスとして国内外で非常に高い評価を得ています。

本学では、空間演出デザイン学科三回生のゼミ発表公演として、二〇〇〇年「PEACH 千年花」より過去七回、瓜生山野外能楽堂、studio21(同大学内)で開催しています。毎年人気を博し、本学で最も注目されている公演の一つです。そして今回「PART13 去來II」は、満を持して京都劇場 春秋座で花道、廻り舞台、セリ、スッポンなどの設備を使用し上演します。また、歌舞伎スタイルの劇場で学生が作品を発表する機会は殆んどありません。

毛利芸術監督の指導の下、本学空間演出学科三回生と本年度から全学科・全学年の「モーリ・マスク・ダンスプロジェクト」メンバーが加わり、五十名以上の学生が出演、衣裳、マスク、小道具・舞台空間のデザイン製作、音響、照明、広報まで行ないます。

ゲスト出演に、栗崎昇氏(花柳)、藤間信乃(輔)氏(日本舞踊派藤間流)、須貝哲也氏(舞踊家)、廻はるよ(京都造形芸術大学 空間演出デザイン学科准教授)、音楽に越智プラザーズ(パークカッショニデュオ)を迎えます。第一線で活躍するプロのアーティストと学生の共演も話題になっています。

宇宙・生命の運行、四季の素晴らしさを舞と音楽で表現し、独創的なマスクと衣裳で空間を創造します。四季によって舞台は表情が変化し、「生と死」「陽と陰」「善と悪」と対になるテーマが加わり音楽や舞によって一つの物語が完成します。様々な趣向を凝らした色鮮やかな衣裳・舞台空間は目も心も満足できる公演です。

学生たちが一丸となり、本番まで作業を進めています。学生たちが創り出す舞台を是非鑑賞ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



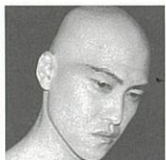
公演チラシより



栗崎昇



藤間信乃



須貝哲也



越智プラザーズ

モーリ・マスク・ダンス「去來II」は、初めて春秋座という本格的な舞台で行なわれます。舞台の設備である迫り、盆や、スッポンなどをフルに使って、毛利芸術監督と共に美しい空間演出を生み出そうと考えています。本年度から全学から学生を募って総勢五十人以上で作業を行なっていて、みんな夏休みを削って一生懸命作業をしています。衣裳、小道具、美術、照明、音響、広報活動までいろいろ学びながら全て自分たちの手で行なっています。本格的な舞台を使って学生たちが一つの舞台を作り上げるという貴重な機会は、他にないと思います。その機会を十分に楽しんで、素晴らしい舞台作りを励んでいます。見に来て損はさせません。この機会を是非お見逃しなく!

空間演出デザイン学科3回生 広報担当:野上希

八月、九月と毎日のようにゼミ生、プロジェクト生は作業を行なっています。今年から春秋座という大規模な舞台でやるということもあり、学生一人一人の意気込みは目を見はるものがあります。「モーリ・マスク・ダンス」で「去來II」は、そんな学生の真剣さ、一生懸命さが全面に出る素晴らしい公演になると思います。

照明や衣裳など自分たちで作るという作業は、もちろんのこと、プロの方々による歩き方、廻り方、姿勢など演出指導も受け、完成度はとても高いです。

舞台という場所ですべて一人一人が様々な方法で表現しています。そして観に来てくださる方への何かを感じて頂けたら嬉しいのです。是非観に来て下さい。

空間演出デザイン学科3回生 広報担当:澤野加世子



稽古風景

毛利先生の溢れ出るアイデアと学生のフレッシュな感性とが合わさった素晴らしい舞台です!皆頑張っているのは是非観にいらして下さい。

空間演出デザイン学科3回生 演出助手:高橋史江

型紙の無い一枚の布が今回のモーリ・マスク・ダンス衣裳のテーマです。一枚の布から生まれる可能性を追求し舞台上で表現します。

空間演出デザイン学科3回生 衣裳製作:小田隆史

照明班ではより魅力的な舞台になるような明かりを目標に頑張っています。四季の移り変わりや全体のメリハリ、調和を大切に「去來II」が素晴らしい舞台になるように全力を尽くしているのは是非観に来て下さい。

空間演出デザイン学科3回生 照明班:杉本紗千恵

宇宙で繰り広げられる四季の舞、その空間が美術の作品です。只今一丸となって製作中、どうぞご期待下さい。

空間演出デザイン学科3回生 美術班:川原美由紀

小道具班では、モーリ・マスク・ダンスで重要なマスクのメイクをはじめ、各シーンで使用する花や楽器、色とりどりのヘッドドレスや首飾りなど小道具を製作しています。

空間演出デザイン学科3回生 小道具班:日根野美由紀



衣裳・マスク製作風景

(お詫びと訂正)
京都芸術劇場ニュースレター「スケジュールピックアップ」P.3で掲載させて頂きました「モーリ・マスク・ダンス」Part13「去來II」の記事に誤りがございました。訂正して深くお詫び申し上げます。
(出演)藤間信之輔・藤間信乃輔

モーリ・ファッショ・インスタレーション・インスタレーション featuring TSUMORI CHISATO

12月9日(日) 開演15時/18時 2回公演 ※開場は30分前 京都芸術劇場 春秋座
料金：一般前売1600円 当日2000円 学生前売800円 当日1000円(要学生証)

(※未就学児入場不可。チケットの購入はお一人様2枚まで)

戯曲・構成・演出・美術：毛利臣男(京都芸術劇場 芸術監督)

衣装：津森千里(デザイナー)

映像・音楽・ピアノ演奏：金大偉(アーティスト)

空間デザイン：大野木啓人(京都造形芸術大学 芸術学部学部長)

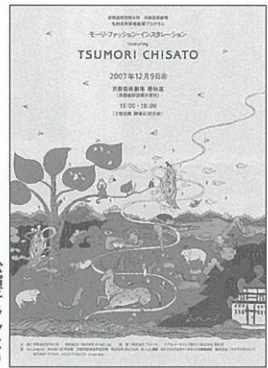
学生スタッフ指導：中山和子(京都造形芸術大学 ファッションデザインコース教授)

ヘアメイクアップ：富川栄(株式会社 資生堂)

和太鼓作曲・指導：高木克美(京都造形芸術大学 和太鼓研究センター所長)

和太鼓演奏：恵(京都造形芸術大学 京都芸術デザイン専門学校 京都文化日本語学校 学生)

出演モデル：本学学生、及びプロ・アマ含む公募より選出した55人



公演チラシより

京都芸術劇場芸術監督毛利臣男が本年より、満を持して企画開催する全く新しいファッションプレゼンテーションが、「モーリ・ファッショ・インスタレーション」です。七〇年代〜九〇年代(SSEY MIYAKE Paris Collection)の企画やファッションショーの演出に携わり、また春秋座初代芸術監督 市川猿之助の作品の装置、衣裳デザインを担ってきた毛利臣男芸術監督が戯曲・構成・演出・美術を執り行います。

今回は、現在大いに注目を浴びるファッションデザイナー 津森千里氏の特別協力の下、今までパリコレクションにて発表されてきた TSUMORI CHISATO のコレクション百点以上を使い、「TSUMORI CHISATO の世界」を披露していきます。また、二〇〇七年十月のパリコレクションにて発表される二〇〇八年春夏コレクションの日本のプレゼンテーションとしては、初披露となり、一般の方々を対象にしたプログラムで、関西で TSUMORI CHISATO のショーが開催されるのは今回が初めてになります。

日本の近代ファッションのルーツである歌舞伎。それを現代に踏襲した春秋座で歌舞伎劇場特有の大ゼリや盆などの機能を最大限活かし、ピアノや和太鼓のライブ演奏やダンス・映像など、様々なジャンルとコラボレートしながら、斬新な作品が繰り広げられます。

また、TSUMORI CHISATO 作品を纏うモデルは本学学生やプロ・アマ含め一般公募で採用された五十五人が出演し、メイク・ヘアメイクでは、資生堂スタッフ指導の下、メイクを学ぶ京都理容美容専修学校の学生がメイクアシスタントを行い、ファッションを学ぶ本学ファッションデザインコースの学生がフィッターを務めるなど、プロと今後を担う若者との共同クリエイションの現場でもあります。

近代と現代の美の奇跡的な巡り合いが、京都芸術劇場から発信されます。世界に類を見ない試みを、どうぞ目撃してください。

モーリ・ファッショ・インスタレーション モデルオーディション

去る七月八日(日)に出演モデルオーディションが京都芸術劇場 春秋座で開催されました。公募によるプロ・アマ含めた参加者の募集に、北は秋田県、南は宮崎県から二五人もの方々が応募され、この企画への関心の高さを窺い知ることができました。書類選考を通過した一四一人の方がオーディションに臨み、毛利臣男芸術監督 津森千里氏、中山和子教授の審査のもと、第一次・第二次審査を経て、五十五人のモデルの出演が決まりました。

第二次審査ではパリコレクションで発表された「TSUMORI CHISATO」の服を着て審査が行われ、飄爽と歩く姿に劇場全体が華々しい雰囲気になりました。現在、本番に向けてウォーキング練習を行っています。本番での彼女達の可憐な姿に乞うご期待。

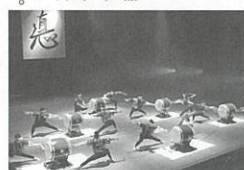


オーディションの模様

出演者プロフィール

和太鼓演奏：恵

京都造形芸術大学・京都芸術デザイン専門学校 京都文化日本語学校の学生で、男子13名、女子33名、合計46名で構成。ただ技術だけを磨くことを目的ではなく、「心・技・体」をテーマに、和太鼓という楽器を通して、自分自身に与えられた身体を大いに活かす、鍛え、心のあり方を考えながら、お互いに成長し合うことを目的としている。また、京都市内をはじめ、他府県でのイベント等にも多数参加しながら、自主公演も積極的に行っている。2005年10月には、イタリアのフィレンツェ市ピストイヤ市から招待を受け、計5会場での海外公演を行った。



ピアノ演奏：金大偉

中国出身。一九七九年来日以降、自然との共鳴感覚や精神内外部の調和を重視しつつ、先端テクノロジーなどを駆使しながら、独自のイメージレーションによって、音楽・映像・美術などの世界を総合的に表現している。

音楽CD (Harmony) (96)、「Waterland」(6)、「新・中国紀行」(00)、「龍・DRAGON」(0)、「東巴TONPA」(0)など8枚をリリース。最新作は「道tao」シリーズ三枚を同時発売。映像監督作品は、文学と融合させた映像詩「石牟礼道子の「じゅうりえんえん」(04)「海霊の宮」(06)など多数。



毛利臣男芸術監督プログラム「モーリ・マスク・ダンス Part13 去来II」

「モーリ・ファッショ・インスタレーション」featuring TSUMORI CHISATOのお問合せ先は075-791-8199。

※チケットは両プログラムとも前売券完売いたしました。

コンサートジエネシス(始原)II

復元考証・企画構成：木戸敏郎(当センター主任研究員・元国立劇場演出室長)
 11月17日(土)14時開演 京都芸術劇場 春秋座(全席自由席)
 前売料金：一般2000円 学生&ユース(25歳以下)1500円 友の会1800円 ※当日は各500円増
 共催：京都造形芸術大学 比較芸術学研究センター 協力：スタジオノハラ

本公演は、昨年四月に当劇場で行った『ジエネシス(始原)』に続く企画です。当センター主任研究員、木戸敏郎は長年、正倉院やルーブル美術館、大英博物館などに所蔵される貴重な古代楽器を研究・復元してまいりました。『ジエネシス(始原)』では、彼のライフワークともいえる復元楽器の研究成果が、現代音楽のコンサートという形で披露され大変話題となりました。

今回の『ジエネシス(始原)II』は、昨年とは異なるプログラム構成で、今年新たに復元された大英博物館所蔵の古代ギリシア・アングルハープが世界初演で加わります。また、オーストリアの芸術・先端技術・文化の祭典『アルス・エレクトロニカ(デジタルミュージック部門)』でグランプリに相当する『Goldan Nica』を受賞した三輪真弘氏の委嘱作品も世界初演の予定です。

植物に例えれば原種ともいえるそれらの楽器には、古くから改良され続け現在の型となった楽器とは異なる音の発見があります。既存の音楽に新しい風を吹き込む今回のコンサートにご期待ください。

プログラム

■第一部 アンクルハープ

- 委嘱作品 三輪真弘作曲タイトル未定二〇〇七(初演)
- 一柳慧作曲『時の佇み』一九八六
- 三輪真弘作曲『蟬の法』二〇〇三

転写：アングルハープ(古代ギリシア)：篠崎史子
 転写：アングルハープ(古代エジプト)：西陽子

転写：箏(正倉院)：摩寿意英子
 箏(正倉院)：片岡詩乃

■第二部 ダブルリード

- 雅楽伝承曲『調子』他
- 畢業大畢業：八百谷啓
- デモンストレーションアウロスに倣って二本のダブルリードによるダブルリード：中村仁美
- カールハインツ・シュトゥックハウゼン作曲『リヒト』一九七七
- 畢業：八百谷啓
- ジョン・ケーシ作曲『龍安寺』一九八三 畢業と打物による
- 畢業：八百谷啓 他
- 打物：山口恭範



〈映像と身体〉の人類学

12月8日(土)、9日(日)、22日(土)、23日(日) (入場無料)
 京都造形芸術大学 芸術文化情報センター 映像ホール(八間館203)
 主催：舞台芸術研究センター+映画学科(企画担当：八角聡仁、佐藤真)
 レクチャー、シンポジウム講師：市岡康子、大森康宏、川瀬憲、新井一寛、北村皆雄、内田順子、北小路隆志、八角聡仁、森山直人

舞台芸術研究センターでは、情報通信技術と密接に結びついて急速に発達する映像メディアが身体にどのような影響を及ぼすのか、また、それに伴って基本的に(「生身の身体」)に依拠する舞台表現がどのように変容し、未来に向けてどのようなものでありうるのかを、研究テーマ、研究活動の基軸の一つとして、さまざまな角度から考察してきました。それをふまえて本企画では「映像人類学」の問題系に関連する映像作品の特集上映と討議を行い、民族文化へのアプローチを方法論として近代の視覚の制度を対象化しながら、映像による身体表象をめぐる諸問題について検討します。また同時に、ドキュメンタリー映画における「記録」と「再現」について再検討することを通して、映像芸術と広義の「パフォーマンス」の関係、さらに映像文化・複製技術の時代における舞台芸術の位相を探ります。

上映予定作品：市岡ゼミ『信仰の灯し火―古舞・現代に生きる神と人のかたち』、市岡康子『女の島トロブリランド』、『ジェイ・エイ・ヘムリウカノボジアの神がかり』、大森康宏『私の人生ジプシー・マヌーシユ』、『津軽のカミサマ』、岩谷彩子『ギリシャ―歌謡とロムの息づく国』、分藤大翼『Mo a be もりのなか』、川瀬憲『ラリベロツチ終わりなき祝福に生きる』、新井一寛『エジプトのスーフィー教団―若きシャイフと神への熱情』、北村皆雄『海南小記序説』、アカマタの歌―西表島・古見、『見世物小屋―旅の芸人・人間ポンプ一座』、『修験―羽黒山・秋の峰』、『アオレイオス・ソリト』、『神聖なる真実の儀式・野田真吉』、『冬の夜の神々の宴』、『遠山の霜月祭り』、『生者と死者のかよい路』、『新野の盆おどり』、『リユミエール映画』、『日本編(ジレレ、ヴェール作品集)』、『内田順子+鈴木由紀』、『ANU Past and Present』、『ニール・ゴードン・マンロー』、『東京オリビア映画社改題版』、『イヨマンデー 秘境と叙情の大地』、『ニール・ゴードン・マンロー』、『英国国立映画TVアーカイブス保存版』、『カムイ・イヨマンデー』、『トリン・T・ミンハルアッサンブラージュ』、『ジャン・ルーシュ』、『人間ピラミッド』、『ピクチャー・マサエスウア』、『イマジニング・インディアン』、『サミール』、『忘却のバグダッド』、『クリス・マルケル』、『不思議なタミコ』

※なお、本企画はこれまで映像・舞台芸術学科と芸術文化情報センターの共催で続けてきた上映会のシリーズ企画「ドキュメンタリー映画の世界」佐藤真監督セレクションを引き継ぐもので、9月4日にご逝去された佐藤真先生のご冥福をお祈りいたします。



NYジャパン・ソサエティ創立百周年、社団法人・日米協会創立九十周年事業 二〇〇五年NYベッシー賞、およびNYイノベティブ・シアター賞受賞作品

バジル・ツイストの『Dogugashi』

演出・構成：バジル・ツイスト 音楽構成・演奏：田中悠美子

11月28日(水) 19時30分 29日(木) 14時開演

会場 京都芸術劇場 春秋座 舞台上 全席自由席

前売料金：一般 3500円、学生&ユース(25歳以下) 2500円、友の会 3000円

*当日は各500円増 *学生証、身分証、友の会会員証などを提示下さい。*未就学児童のご入場はお断りします。

後援：京都日米協会

協力：京都芸術センター



本公演はアメリカ前衛人形劇の寵児、バジル・ツイストの日本初ツアーです。NYジャパン・ソサエティの委嘱によって創られ、二〇〇四年十一月に同ソサエティにて世界初演された本作品『Dogugashi』は、アメリカ舞台芸術界で栄誉あるNYベッシー賞、およびNYイノベティブ・シアター賞を受賞しました。『Dogugashi』は、日本の伝統人形芝居のからくり「道具返し」の手法をとりいれながら、映像などの視覚効果と、義太夫三味線のライブ演奏、電子音楽、ノイズ音楽、ポップスの断片が違和感なく交差した実験的舞台作品です。

作者であるバジル・ツイスト氏は、かつてフランス留学中に見た古いモノクロのドキュメンタリーフィルムで、阿波地方の農村舞台などで細々と継承されている「道具返し」の手法を知り長年興味を抱いていました。「道具返し」とは襖絵や遠近法を取り入れた舞台機構で、人形芝居の舞台を千畳敷の大広間へと早替わりさせるような仕掛けで、「ふすからくり」とも呼ばれています。

二〇〇三年のジャパン・ソサエティからの委嘱を受けたツイスト氏は、「道具返し」の調査と研究のために、二度の訪日を通じて、淡路人形座や徳島の農村舞台などを訪ね歩きました。また、訪日中には京都芸術センターでのレジデンシーを行い、京都の参加者と共に、オリジナル道具返しをつくるワークショップも行なっています。

また、委嘱を通じて、義太夫三味線奏者、田中悠美子氏と出会い、共同制作を通じて現代舞台芸術作品として比類のない『Dogugashi』が生まれました。本作品は、単なる日本の手法の模倣ではなく、日本の素材をもとにした極めて質の高い芸術作品となっています。

日本人でも本物の「道具返し」を見た経験のある人々はほとんどいない中、米国人のツイスト氏に「道具返し」が継承され、それが新たな芸術作品として生まれ変わったことは大きな意義をもっています。いわば「里帰り」公演とも言うべき本ツアーは、バジル・ツイストという貴重なアーティストを知るだけでなく、日本人にとっても自国伝統文化を再発見する機会となることでしょう。



バジル・ツイスト

親子三代続く人形造いの家に生まれる。アメリカ人として初めてフランス国立高等人形劇芸術学院を卒業。九八年、ベルリオズの『幻想交響曲』を用いて、「水槽の中で布が踊る」抽象的な舞台をニューヨークの小劇場で発表。一躍、全米の注目の的となる。以来、リンカーン・センター、ウオーカー・アートセンター等の名だたる美術館・劇場からの委嘱を手掛けている。米国で人形劇と言えば「子供向き」という認識しかなかったものを、その画期的な創造と質の高さで「大人の鑑賞する前衛舞台」と地位を向上させた。全米の舞台・演劇界でその功績を非常に高く評価されている今一番の注目アーティスト。

田中悠美子

東京芸術大学大学院で音楽学を専攻。文楽の人間国宝、故・野澤錦系に義太夫三味線を、女流義太夫の人間国宝、竹本駒之助に義太夫節の語りを師事。女流義太夫の三味線弾きとして活動し、一九九〇年度芸術選奨文部大臣新人賞を受賞。現在では国内外における実験的な表現活動を通して、三味線や日本の声の可能性を追求している。二〇〇六年、アジア・カルチュラル・カウンシルのフェローとしてニューヨークに五ヶ月間滞在。兵庫教育大学准教授。舞台芸術研究センター企画では、高田和子 SANGEN SPACE vol.4『帰ってきた「糸」』に続く、二度目の出演。

プロデュース：NYジャパン・ソサエティ JAPAN100

日本ツアー共催：NYジャパン・ソサエティ、社団法人・日米協会

助成：American Express

日本ツアー制作：京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

NPO法人 Japan Contemporary Dance Network (JCDN)

日本ツアー舞台技術：(株) RYU

*本公演は、他二箇所を周る日本ツアーの京都公演です。

他の開催地は、左記をご参照ください。

金沢(11月24・25日) 金沢21世紀美術館 シアター21 主催：金沢21世紀美術館

横浜(12月4・5日) ランドマークホール 主催：財団法人 横浜芸術文化振興財団

徳島(12月8・9日) 徳島県郷土文化会館 主催：財団法人 徳島県文化振興財団

「太田省吾さんを京都で偲ぶ会」

10月21日(日) 12-14時：〔1部〕記帳・献花(無料) 14-17時：〔2部〕セレモニー・会食(会費3000円)
京都芸術劇場 studio 21

主催：「太田省吾さん」を京都で偲ぶ会(実行委員会) 京都造形芸術大学学生、卒業生、教職員を中心とした有志の会
去る二〇〇七年七月十三日夕刻に、演出家・劇作家の太田省吾さんが永眠されました。太田省吾さんは、近畿大学教授を五年間務められた後、一九九九年から京都造形芸術大学に着任され、映像・舞台芸術学科学科長として、また舞台芸術研究センターの責任者として、これまで新しい教育と表現の場を創り出す試みを続けてこられました。
太田さんが新学科学科長と同時に自らの思いを込めて構想され、七年間学生とともに過ごされた場所である同大学内 studio 21 でお別れ会を開き、皆様と故人の思い出を語り合う時を過ごしたいと思っております。ご参集いただける方は、当センターまでお問い合わせください。

*舞台芸術研究センター主催・関連企画のチケットについては

京都芸術劇場チケットセンター(詳細は巻末参照)までお問い合わせください。

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 電話 075-791-9437 FAX 075-791-9438

メール info@k-pac.org WEB http://www.k-pac.org

スケジュール・ピックアップ

第2回世界アーティストサミット公開シンポジウム

12月2日(日) 開演13時(18時30分終了予定)

京都芸術劇場 春秋座 / 入場無料 ※要事前申込、申込先着順

定員：860名(学生、一般) 通訳：逐次通訳(英・韓) 託児サービスあり ※要事前申込

世界アーティストサミットは、世界の危機的な状況をアーティストの「創造・想像力」をもってどう解決するかというテーマについて、世界各地のトップアーティストたちが議論し、解決策を京都から社会へ提案するプラットフォームとして実施されています。第一回は二〇〇五年に行われ、今回は二回目の開催になります。皆様お誘い合わせの上是非ご聴講下さい。

プログラム

13時 主催者挨拶 榎本頼兼(京都市長、千住博(京都造形芸術大学学長)

13時20分 オープニングプレゼンテーション 高校生からの提案

東北芸術工科大学主催「第十四回全国高等学校デザイン選手権大会」優秀校に選ばれた三校九名の高校生が、社会をより良くするデザインをプレゼンテーションし、若い世代がアート、デザインを通してどのように社会と向き合い、発信しているかを示します。

14時

第一部：Voices from the Artists—アーティストからの提案

パネリスト：ジャールバット・アーチャワサミット(タイ・ファッション)

ギユルスン・カラムスタファ(トルコ、美術)

イングリッド・ムワンギケニア(美術)

坂本龍一(日本・音楽)

クシユトフ・ヴォデイチコ(ポーランド・美術)

ユック・クンピョン(韓国・美術)

モテレター…宮島達男(現代美術家、京都造形芸術大学客員教授、東北芸術工科大学副学長)

16時20分 第二部：パネルディスカッション—未来をになう文化力

アートの力をどのように企業、行政、社会がとらえ、活用していくか、また未来の日本におけるアートの役割と可能性を、国際貢献のあり方や藝術立国の可能性にも視野を広げ討議します。表

現者、企業、行政、文化施設などさまざまな形でアートに関わるパネリストをお招きします。

パネリスト：小山内美江子(脚本家、JHP・学校をつくる会代表)

高辻ひろみ(財団法人せたがや文化財団常務理事、世田谷文化生活情報センター館長)

ちばてつや(漫画家)

津田和明(独立行政法人日本芸術文化振興会理事長、サントリー株式会社顧問)

モテレター…寺脇研(京都造形芸術大学教授)

18時20分 閉会の挨拶 徳山詳直(京都造形芸術大学理事長)

※詳しくは公式サイトをご覧ください。 <http://www.artists-summit.org/>



お問い合わせ・申込み・チケット取扱いは8ページをご覧ください

映像・舞台芸術学科舞台芸術コース5期生 卒業制作公演

『2007年チャールズ・チャップリンの旅』

11月17日(土) 開演19時、18日(日) 開演15時

※開場は開演の30分前 京都芸術劇場 studio21 / 入場無料(要事前予約)

「笑い」に興味があり、「笑い」をテーマに作品をつくりたいと考え、思いついた人物が、チャールズ・スペンサー・チャップリンだった。サイレントチャップリン、トーキーチャップリン、そして放浪者チャップリン。日本の「笑い」とチャップリンの「笑い」、その違いを考えながら織り交ぜながら、チャップリンが2007年に旅をする。現代の日本の「笑い」を見た彼(ら)は何を思ったのか。3人のチャップリンが交錯する。これを見て、自分にとって「笑い」とは何なのかもう一度考えてもらいたい。

(構成・演出/映像 舞台芸術学科舞台芸術コース四回生 北川真吾)



映像・舞台芸術学科舞台芸術コース5期生 卒業制作公演

『トロイアの女』

11月29日(木) 開演19時、30日(金) 開演14時・19時、12月1日(土) 開演14時

※開場は開演の30分前 京都芸術劇場 studio21 / 料金前売7000円当日10000円 ※学生は2000円引き

トロイア戦争後の廃墟に残された女たちを描き、これまでも様々な形で上演されてきたギリシア悲劇の名作「トロイアの女」を、すぐに過ぎ去る目新しさではなく、人間の普遍への眼差しで見つめなおす。本学・舞台芸術コースで四年間を学び、様々な舞台表現の場を経験してきた出演者やスタッフ、また、歴史的な文脈をふまえた上で現行の歌舞伎とは異なる切り口から歌舞伎の演目を上演している木ノ下歌舞伎の主宰・木ノ下裕一が、真摯にギリシア悲劇と向かいあふ。

(制作担当/映像 舞台芸術学科舞台芸術コース四回生 木村悠介)



映像・舞台芸術学科舞台芸術コース5期生 卒業制作ダンス公演

『Mamama—わたしに近い4人の他人—』

12月21日(金) 開演19時、22日(土) 開演13時・17時

※開場は開演の30分前

京都芸術劇場 studio21 / 料金：前売7000円 当日10000円 ※学生は2000円引き

京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科五期生を中心として二〇〇四年に結成されたchaity。様々なジャンルのダンスを活かし「個と集団の関係性」をテーマに新たな身体表現を追求している。第三作目となる今作では、既存の「ダンス」に問いを投げかけ「ジャンル」「テーマ」といった概念を疑うことから始め、あえて一人の演出を立てない作り方に挑戦する。確かなテクニックと強烈な個性をあわせ持つ四人のダンサーと、様々な舞台作品に関わりその技術と感性を磨いてきたスタッフの「いま、ここ」でしかできないことを結晶させたダンス作品。

(舞台美術担当/映像 舞台芸術学科舞台芸術コース四回生 関田彩乃)



京都市立高野中学校吹奏楽部 第17回定期演奏会

10月14日(日) 開場15時30分 開演16時
京都芸術劇場 春秋座 / 入場無料

この定期演奏会は、一年間の活動の成果を聴いていただく場であるとともに、三年生の引退式を兼ねており、毎年、保護者や地域の方々、OBや在校生など大勢の皆さんに来ていただき、盛大に催しています。皆様のご来場をお待ちしています。

猿之助 絵日記展

10月22日(月)～10月31日(水)
10時～17時(入場16時30分まで)
京都芸術劇場 春秋座 ホワイエ / 入場無料

副学長だった市川猿之助先生の療養中のリハビリとして行つてこられた絵日記を公開する展覧会。絵を描くことが病気に打ち勝つ勇氣や氣力を育むことを身をもって証明されました。先生の歌舞伎にかける強い想いを読み取ることができるすばらしい作品を堪能ください。

TenTen 映像部門 映画祭

11月1日(木)・2日(金)・3日(土) 開演13時(3日間とも)
京都芸術劇場 春秋座 / 入場無料

瓜生山祭実行委員会の運営するTenTenに映像部門が新設されました。学生の映像作品を集めたコンペで、一・二日は上映会、三日は審査員を招いた授賞式を行います。

京都府次世代等古典芸能普及促進公演 第8回音輪会 雅楽演奏会

11月4日(日) 開場15時30分 開演16時 京都芸術劇場 春秋座
料金：前売3000円 当日3500円

雅楽一千年の伝統を次世代につなげていこうと志す者達が、御遊のふるさと・京都に集い、雅楽団体「音輪会」を平成八年に結成。国内外での演奏会活動や、雅楽教室で日本の伝統音楽を次代に伝える活動も積極的に行っています。演奏会では、管絃・雅楽アラカルト・舞楽を披露いたします。

2007年度第24回 キャリアプランニング講座

11月15日(木) 開場13時10分 開演13時30分
京都芸術劇場 春秋座 / 入場無料

株式会社佐藤卓デザイン事務所代表の佐藤卓氏が来校。「今後のデザインの可能性」をテーマに、佐藤氏がこれから取り組んでいかれる仕事や新商品を紹介いただきつつ、リアルタイムなデザイン業界の動向を講演いただきます。クリエイティブ・ライティング特別講演会

第1回：瀬戸内寂聴先生に 辻仁成が尋ねる秋の夕べ

11月24日(土) 開場18時 開演18時30分
京都芸術劇場 春秋座 / 入場無料 ※要事前予約

クリエイティブ・ライティングコースの教授として、学生達に小説の書き方を教えている辻仁成が、第一線で活躍されている作家の方々をお迎えして、お話を伺うシリーズ。第一回目のゲストは、瀬戸内寂聴さんです。今後も年一回のペースで開催する予定です。

過去の公演から...

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催

「みやこで常磐津を楽しむ」報告

(6月30日/京都芸術劇場 春秋座)
一極集中化という現代の日本文化の欠点を是正し、偏った日本文化を見直すために立ち上げた企画「みやこシリーズ」みやこで常磐津を楽しむは選りすぐりの豪華な顔ぶれでお楽しみいただきました。

常磐津節は歌舞伎の舞踊劇とむすびついて発展したために、太夫と三味線の演奏による語り物としての浄瑠璃の醍醐味を堪能する機会にはなかなか思えません。今回は「松島」「乗合船」「関の扉」「老松」といずれも常磐津を代表する名曲をたつぷりと味わうことで、あらためて語り物の魅力を知ることができました。演奏をはさんで家元常磐津文字太夫師による常磐津についての興味深いお話は、鑑賞する上でおおいに役に立つものでした。まさに、大学だからこそ実現した企画内容といえるでしょう。



撮影：清水俊洋

《瓜生山草》

意思を文字で伝えるのは人間だけでしょう。文章がストリートに意思を伝えるなら、芸術文化は生まれなかったかもしれない。

明確な意思を明確な文章で表現するために多くの芸術家達が悩んできました。文章には事実、冗談、或いは反語、皮肉、本歌取り、丸っきりの嘘と、様々なものが混ざつていて、評価も様々です。

文字についても様々な考えがあるのに、他分野の芸術に関しては膨大な意見が出ます。

それが芸術に値するのだろうか？ その前に多くの人に愛される作品でないと駄目でしょうし、愛されるものです。なにが愛されるか分れば楽しいだろうな。(岩田)

京都芸術劇場 ニュースレター

発行：京都芸術劇場
発行人：毛利臣男 八角聡仁
編集人：岩田廣明
デザイナー：清水俊洋

Vol.6
2007.10.

発行日：二〇〇七年十月一日

月	日	曜日	開演時間	催し物	内容	会場	問合せ先	チケット販売	
10月	14	日	16:00	京都市立高野中学校吹奏楽部 第17回定期演奏会	※詳細は7ページをご覧ください	春	京都市立高野中学校吹奏楽部 TEL 075-781-8134	入場無料	自
	20	土	16:00	京都造形芸術大学主催 京都芸術劇場 毛利区別芸術監督プログラム モーリー・マスコ・ダンスPart13 去来II	※詳細は2ページをご覧ください	春	劇場企画運営室 TEL 075-791-8199 京都芸術劇場チケットセンター TEL 075-791-8240	500円 ※前売チケット完売しました	自
	22	月	10:00	猿之助 絵日記展	※詳細は7ページをご覧ください	春	劇場企画運営室 TEL 075-791-9207	入場無料	自
	31	水	17:00 (入場16:30まで)						
10月開催の他の公演につきましては、京都芸術劇場ニュースレター vol.5 をご覧くださいませ。									
11月	1	木	13:00	TenTen 映像部門 映画祭	※詳細は7ページをご覧ください	春	瓜生山祭実行委員会 TenTen部 代表:大槻 090-1475-6169	入場無料 ※一部指定	自指
	2	金	13:00						
	3	土	13:00						
	4	日	16:00	京都府次世代等古典芸能普及促進公演 第8回 音輪会 雅楽演奏会	※詳細は7ページをご覧ください	春	音輪会 事務局 TEL 072-682-6787	【京都芸術劇場チケットセンターにて発売中】一般3,000円 瓜生山学園学生2,000円 友の会2,700円 ※全て当日券+500円 ※びあは前売、一般のみ	自
	5	月	16:10	2007年度公開連続講座 日本芸能史	コーディネーター:田口章子 【後期】第五回「長唄」実演/今藤政太郎	春	京都造形芸術大学 瓜生山エデュケーションセンター TEL 075-791-9124 (平日9時~17時/土曜9時~16時)	公開授業 後期10,000円 ※申込は問合せ先へ	
	12	月	16:10	2007年度公開連続講座 日本芸能史	コーディネーター:田口章子 【後期】第六回「常磐津」実演/常磐津都瓦蔵	春		※11月5日の欄をご参照下さい	
	15	木	13:30	2007年度 第24回キャリアプランニング講座	※詳細は7ページをご覧ください	春	京都芸術デザイン専門学校 TEL 075-722-9231	入場無料	自
	17	土	14:00	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催 コンサート シェネシス(始原)II	※詳細は4ページをご覧ください	春	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL 075-791-9437	【京都芸術劇場チケットセンターにて発売中】一般2,000円 学生&ユース1,500円 瓜生山学園学生500円 友の会・学内関係者1,800円 ※全て当日券+500円	自
	17	土	19:00	映像・舞台芸術学科 舞台芸術コース 卒業制作公演 【2007年チャールズ・チャップリンの旅】	※詳細は6ページをご覧ください	S	制作 090-6127-9493(伊藤)	入場無料 ※要予約 予約受付 http://www.3to/yoyaku-form ご予約の際は、公演名、日時、人数、代表者名(フリガナ)、電話番号をお知らせ下さい。	自
	18	日	15:00						
	19	月	16:10	2007年度公開連続講座 日本芸能史	コーディネーター:田口章子 【後期】第七回「清元」実演/清元清寿太夫	春		※11月5日の欄をご参照下さい	
	23	金	13:00	京都造形芸術大学 映画祭 第4回:林海象映画祭 ~映画を探偵する監督と俳優~	上映作品:「我が人生最悪の時」(92min)、「遙かな時代の階段を」(101min)、「罨 THE TRAP」(106min) ゲスト:佐野史郎(俳優) ※予定、林海象(映画監督)	春	京都造形芸術大学 映画学科 TEL 075-791-9353 京都芸術劇場チケットセンター TEL 075-791-8240 (平日10時~17時)	【京都芸術劇場チケットセンター・映画学科にて発売中】 通し券5,000円(全6回+映像ホールでの特別企画上映1回) 1回券 一般1,500円 学生・シニア1,000円	自
	24	土	18:30	クリエイティブ・ライティング 特別講演会 第1回:瀬戸内寂庵先生に生じた成が尋ねる秋の夕べ	※詳細は7ページをご覧ください	春	京都造形芸術大学 芸術表現・アートプロデュース学科 TEL 075-791-8039	無料 ※e-mail, FAX, ハガキにて、お申込みください。折り返し、チケット(ハガキ)を郵送します。 ※参加者全員(4名様まで)の名称、代表者の名称・住所・電話番号をお書き添え下さい。 email:1124@creativewriting.jp F:075-791-8429 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都造形芸術大学 ASP学科 クリエイティブ・ライティングコース(演劇内蔵)3上 或 特別講演会(原)	
	26	月	16:10	2007年度公開連続講座 日本芸能史	コーディネーター:田口章子 【後期】第八回「歌舞伎」理論/田口章子	春		※11月5日の欄をご参照下さい	
	28	水	19:30	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催 バジル・ツイストの「Dogugaeshi」	※詳細は5ページをご覧ください	春	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL 075-791-9437	【京都芸術劇場チケットセンターにて10/15発売開始】一般3,500円 学生&ユース2,500円 友の会3,000円 ※全て当日券+500円	自
	29	木	14:00						
	29	木	19:00	映像・舞台芸術学科 舞台芸術コース 卒業制作公演 【トロイアの女】	※詳細は6ページをご覧ください	S	制作 080-3780-0677(木村)	【京都芸術劇場チケットセンター・下記専用フォームにて発売中】 一般 前売700円 当日1,000円 学生&ユース 前売500円 当日800円 チケット予約専用フォーム http://www.3to/yoyaku-form	自
30	金	14:00/19:00							
1	土	14:00							
12月	2	日	13:00	第2回世界アーティストサミット	※詳細は6ページをご覧ください	春	京都造形芸術大学 世界アーティストサミット事務局 TEL 075-791-8027 (平日9時~17時)	無料(下記より事前申込) ウェブ: http://www.artists-summit.org/ Fax:075-791-9181 E-mail: sympo-application@artists-summit.org	自
	3	月	16:10	2007年度公開連続講座 日本芸能史	コーディネーター:田口章子 【後期】第九回「鳴り物」実演/藤倉呂船	春		※11月5日の欄をご参照下さい	
	9	日	15:00 18:00	モーリー・ファッション・インスタレーション featuring TSUMORI CHISATO	※詳細は3ページをご覧ください	春	劇場企画運営室 TEL 075-791-8199 京都芸術劇場チケットセンター TEL 075-791-8240	前売:一般1,600円 学生800円 友の会1,300円 当日:一般2,000円 学生1,000円 友の会1,700円 ※前売チケット完売しました ※学生は学生証を、友の方の方は会員証をご提示下さい。未就学児の入場不可(小学生は、保護者同伴のみ入場可能(学生料金))	指
	10	月	16:10	2007年度公開連続講座 日本芸能史	コーディネーター:田口章子 【後期】第十回「歌舞伎(脚本)」理論/石川耕士	春		※11月5日の欄をご参照下さい	
	16	日	13:00	京都造形芸術大学 映画祭 第5回:佐藤真映画祭 ~ドキュメンタリーの結晶~	上映作品:「エドワード・サイド OUT OF PLACE」(137min)、「ガーダ ーパレスチナの詩ー」(106min) ゲスト:古居みづえ(映画監督)、北小路隆志(映画評論家)	春	京都造形芸術大学 映画学科 TEL 075-791-9353 京都芸術劇場チケットセンター TEL 075-791-8240 (平日10時~17時)	【京都芸術劇場チケットセンター・映画学科にて発売中】 通し券5,000円(全6回+映像ホールでの特別企画上映1回) 1回券 一般1,500円 学生・シニア1,000円	自
	17	月	16:10	2007年度公開連続講座 日本芸能史	コーディネーター:田口章子 【後期】第十一回「講談」実演/宝井馬琴	春		※11月5日の欄をご参照下さい	
	21	金	19:00	映像・舞台芸術学科 舞台芸術コース 卒業制作公演 【Mamama ーわたしに近い4人の他人ー】	※詳細は6ページをご覧ください	S	制作 080-5057-6774(ナガヤ)	【京都芸術劇場チケットセンター・下記専用フォームにて発売中】一般 前売700円 当日1,000円 学生&ユース 前売500円 当日800円 チケット予約専用フォーム http://www.3to/yoyaku-form	自
	22	土	13:00/17:00						

2007年10月~12月 京都芸術劇場スケジュール

凡例— 春 春秋座公演 S studio21公演 指 指定席 自 自由席 電 電子チケットびあ取扱 <http://t.pia.co.jp/> 未就学児の入場も可

*特に表記のない場合、前売と当日は同じ料金 *ユースとは、学生または25歳以下対象 *シニアとは、60歳以上対象

チケットお問合せ先
京都芸術劇場チケットセンター ... TEL:075-791-8240 (営業:平日10:00~17:00/公演開催日)
 E-mail: ticket@kuad.kyoto-art.ac.jp

京都造形芸術大学
京都芸術劇場
 Shunjuza / Studio 21

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
 tel 075-791-9207 fax 075-791-9438
 URL <http://www.k-pac.org/>

